

**2011年度一般会計補正予算案に対する質疑(4月27日) 山口清明議員**

# 被災地支援は相手の気持ちに寄り添って行え 名古屋市の震災対策は、市長が危機感を持って

4月27日に震災対策を盛り込んだ2011年度補正予算が提案され、山口議員が質問しました。

## 思いつくたびに小出しにするやり方は問題

補正額は約15億円。陸前高田市への職員派遣や耐震改修助成の拡充、防災計画の見直し調査などです。市民税減税を行わなかった留保分62億円の一部を財源に、必要な施策を思いつくたびに次々と小出しにするやり方は問題だと指摘しました。

## 陸前高田市への人的支援の内容は

陸前高田市への支援について、山口議員は「壊滅的な被害を受けた市役所の行政機能を回復する事務支援なのか。医療や福祉など市民へのサービス提供(現業部門)も含めた総合的な支援なのか」とたどしました。市長は「気持ちを第一に、お節介にならないように、でも相当総合的に支援を続けたい」と答弁。

## 耐震化の促進を

2008年度で木造住宅の耐震化率は58.1%であり、思いついた施策で耐震化の促進を求め、市長は「安い改修方法など情報提供したい」と答えました。

## 防災計画の見直しは原発事故も含むのか

山口議員は「地域防災計画の見直しに向けた調査には、浜岡原発の震災事故や放射性物質の流出事故への対応も含まれるのか」とたどし、市長は「原発は危険

だ。が、国の計画に抵触してはならないと規定がある。名古屋独自で上乗せしてもいいのではないかと答えました。

## 津波に対する市長の現状認識が心配だ

名古屋港の高潮防波堤、防潮壁に防潮扉、堀川口水門、どれも伊勢湾台風などの高潮には対応できても、地震と津波には耐えられない恐れが強いと指摘した山口議員は「津波は名古屋港では最大2.5mだから心配いらない、安心です、

と市民を説得するのではなく、名古屋港及びその周辺の防災課題を明らかにすべきだ。津波に対する市長の現状認識を問う」とたどしました。市長は「ほんとに2.5mでいいのかと指示がしてある」と答えました。

## 防災意識の啓発が必要なのは、まず市長だ

山口議員は「巨大地震が来れば、高潮防波堤は液状化で4m沈み込む。防潮堤にある41の扉は地震でレールが歪むと閉まらない。堀川口水門も3月11日には1mの津波でも水門を閉じることができなかった」ことを明らかにし、「港には防災課題がたくさんある。市長は危機感と問題意識をもっと持ってほしい」と指摘し、質疑をおえました。



### 最近の主な補正予算

補正予算名	提案日	補正総額 (うち一般会計)	主な内容	備考
2010年度一般会計補正予算(第6号)及び特別会計1件	2010年12月24日	311,139,000 (289,428,000)	市長選挙及び市議会解散投票の執行(2月6日)	専決処分 2011年1月7日承認
2010年度一般会計補正予算(第7号)及び特別会計1件	2011年2月9日	1,096,648,000 (560,406,000)	市議会議員一般選挙の執行(3月13日)	専決処分 2011年4月27日承認
2010年度一般会計補正予算(第8号)及び特別会計3件、企業会計5件	2011年3月9日	87,308,962,000 (4,935,786,000)	高金利市債の繰上償還、受診者数の増加に伴うがん検診費増など。5件の繰越明許	専決処分 2011年4月27日承認
2010年度一般会計補正予算(第9号)及び特別会計3件、企業会計1件	2011年3月9日	15,464,094,000 (5,988,363,000)	生活保護扶助費、ごみ焼却工場建設費補助金の返還等の精査等	2011年3月30日議決
2010年度一般会計補正予算(第10号)	2011年3月9日	154,757,000 (154,757,000)	被災地への災害用備蓄物資の購入で、本市災害用備蓄物資・本市災害用仮設トイレを補充	2011年3月30日議決
2010年度一般会計補正予算(第11号)及び特別会計1件	2011年3月30日	470,284,000 (300,000,000)	岩手・宮城・福島県へ各県1億円の支援物資(自動車など)購入。	2011年3月30日議決
2011年度一般会計補正予算(第1号)及び特別会計1件	2011年4月27日	2,430,386,000 (1,501,868,000)	陸前高田市への人的支援など。耐震改修助成や地域防災計画の見直しなど。経営安定資金の債務負担	2011年4月27日議決